

～ 新理事長の挨拶～ 相馬 宏昭

私がぱれっとにかかわるきっかけとなったのは、学生時代たまり場ぱれっとへボランティアで参加したことでした。知的に障害がある青年たちと余暇活動を共に過ごすという、今では当たり前に行なわれている活動ですが、その当時は、ボランティアという言葉自体に、「偉いわね」「大変ね」という、あまり一般的ではない特別な印象がありました。

あれから27年、ぱれっとの事業拡大とともにわたしも現場に身を投じながら、時代とともに変化してきた福祉の在り方やそれにかかわる若い職員やボランティア気質の変化に対応しながら、ぱれっとの理念を大事に障害のある彼らを主体に歩んできました。

ぱれっともこの30年の間、多様な困難に直面してきました。前理事長とも苦楽を共にし、常に言われ続けてきたのが「優先順位は何か」「先の見通しをつけなさい」です。仕事をする上で基本的なことですが、スタッフ一人ひとりが意識することは中々難しいものです。

福祉を取り巻く混沌とした社会情勢の中、ぱれっとも決して順風満帆というわけではありません。NPO 法人化して10年、その時立てられた理念にも見直しが必要になってきています。これからのぱれっとは何を目指すのか、今の時代をしっかりと見据え、現状と課題を把握し、常にイノベーション（革新）を心がける風土を作りたいと思います。

はなはだ微力ではございますが 一意専心ぱれっとの発展に全力を尽くす所存です。前理事長同様、ご指導とご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

理事長 相馬宏昭